

市役所の非正規労働者(会計年度任用職員)の処遇改善を!



9月議会の予算決算委員会や本会議の討論で、非正規雇用の改善、男女間賃金格差の是正を求めました

教育委員会の「学期雇用」、希望者は通年雇用へ

教育委員会には、学期ごとに雇用を打ち切る「学期雇用」(学校事務補助・給食受入業務補助・学校図書館司書補助・給食調理補助等)があります。

2022年6・7月に市教委が行った学期雇用者アンケートでは、勤務条件で約半数が「健康

保険・厚生年金に加入したい」「収入を増やしたい」「勤務日数を増やして」「1日の勤務時間を長くして」と回答。

学期雇用は、雇用側都合の最悪な雇用形態です。教育長は質疑で、「必要な見直しに取り組む」と前向きに答弁しました。

保育士・看護師など、ケア労働者の処遇改善を

国が公定価格や報酬で水準を決めている保育・介護・障害などのケア労働者の賃金は全産業より平均で「月5万円」低いのが実態です。保育士は、昨年10月の公定価格への処遇改善等加算上乗せで一定改善されました。

しかし、本市の会計年度任用

職員給料表一覧では、業務職の給料が行政職より低く、免許資格職でも、国家資格の保育士が栄養士と並び最も低いのは問題です。人手不足解消からも、処遇改善は急がれる課題です。また、会計年度職員の圧倒的多数がパートタイムですが、希望者はフルタイムにすべきです。

民間企業より大きい市職員の男女賃金格差は早急に是正を

新聞赤旗が9月に集計・公表した都道府県・政令市の男女間賃金格差の実態では、男性賃金を100とした時の女性の賃金割合で、熊本市は、全職員64・6%、任期の定めのない常勤職員85・4%、それ以外の常勤職員81・7%です。全職員対象での民間企業が75・7%であり、熊本市は民間企業より男女賃金格差

が大きくなっています。

常勤職は男性と比べ80%以上の賃金水準に対し、全職員が6割台なのは正規と非正規の賃金格差が考えられます。

男女賃金格差是正のため、保育士・看護師等の処遇改善、女性管理職登用の推進、圧倒的多数が女性の会計年度任用職員の処遇改善などが必要です。

【控室から】
おばあちゃんのハチマキ

上野 みえこ

10月の日曜日、町内対抗の校区体育祭が行われました。久しぶりに全町内が集まったの大会、我が家は、仕事で参加できなかった夫や息子を除き、私と息子のパートナー、孫たち、揃って参加しました。今回の体育祭は、子どもたちの出番が多く、防災訓練、徒走、障害物競争、リレーなどに大張り切りでした。私は輪投げ、4投のうち3つが入り、何とか役目を果たしました。息子のパートナーはリレーに参加、健闘しました。我が帯山2町内のハチマキは、赤と黄の2色という珍しいハチマキです。ずいぶん前に、町内から頼まれて、現在96歳になる義母が縫ったものです。おばあちゃんのつくったハチマキを孫や曾孫、家族が巻いて体育祭に参加してきました。おばあちゃん、曾孫たちの使ったハチマキを洗濯して、「これは私が縫ったハチマキだね」とうれしそうでした。思い出のいっぱい詰まった帯山2町内の2色のハチマキは、これからもずっと使い続けられていくことでしょう。



上野みえこ
(中央区)



いせり栄次
(東区)

日本共産党

熊本市議会だより

熊本市中央区手取本町1-1 メール: kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

発行: 日本共産党熊本市議団 HP: 共産党 熊本市議団

NO. 1343
2023年10月22日号
電話 328-2656
FAX 359-5047



検索

皆さんの声を届け、実現求めてがんばりました

現行の健康保険証を残して

高すぎる国保料の引き下げを

熊本市の国保料は、モデルケース（40歳夫婦+子の3人世帯、控除後所得202万円）でみると政令市の中で3番目に高い保険料になっています。一般会計からの法定外繰り入れ削減をやめて6億円の黒字があり、高すぎる国保料の引き下げを求めました。

熊本市におけるマイナ保険証

の取得率は、46.7%。相次ぐ不具合が指摘されているマイナ保険証は、情報流出等の不安や高齢者や障害がある人は管理も大変です。今回「現行の保険証を廃止しないで」と陳情も出されています。健康保険証の廃止はすべきではありません。

生活保護の改善、充実を

熊本市は、ケースワーカーの充足率が政令市で11位と低くなっています。生活保護の捕捉率はまだまだ低く、権利としての生活保護が確立していません。

相模原市は、ポスターを作成し、安心して生保の申請が出来る環境を作っています。ケースワーカーの充実と気軽に相談できる環境を作っていくことが必要です。右がポスターです。



9月議会いせり栄次の厚生委員会報告

老人福祉センターの拙速な廃止の中止を



健康寿命促進や地域のコミュニケーションの場として活用されている老人福祉センターが10施設中、4施設（西、南、川上、河内）の廃止する条例案が提案されました。当初9月議会で提案される予定でしたが、川尻校区の老人クラブ連合会から反対の陳情が出され、河内地域からも温泉が使えなくなると反対署名が寄せられています。

施設の老朽化による耐震性能不足が主な理由ですが、補修や建て替えの検討をしっかりとやる必要があります。近隣施設の代替では、各種の講座が廃止になったり、一番の楽しみである浴場の利用ができなくなります。利用者からの反対の声が多く寄せられていますので拙速な廃止はいったん中止して見直すことを求めています。

(厚生委員会で要求した項目等)

- ・がん検診の無料化…他の政令市に比べて検診率が押しなべて低いので検診料の無料化を求めました。
- ・補聴器への補助…全国的に高額な補聴器への助成する自治体が増えています。県内でも益城町に続いて長洲町でも実現。
- その他
 - ・医師の働き方改革への対応
 - ・あんま・針きゅうへの助成
 - ・ICお出かけカードの改善
 - ・地域猫活動ボランティアの助成をなどの改善、実現を求めました。